



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 ユニチカ株式会社
コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 注連 浩行
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大西 正哲

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	92,187	△13.7	9,220	30.8	8,387	63.8	6,285	2.0
28年3月期第3四半期	106,777	△7.2	7,049	27.2	5,120	2.7	6,161	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 5,219百万円 (△14.3%) 28年3月期第3四半期 6,092百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	9.59	4.86
28年3月期第3四半期	9.38	4.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	209,583	42,158	18.6
28年3月期	219,957	37,936	15.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 38,955百万円 28年3月期 34,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,500	△8.2	11,700	12.0	9,000	31.9	7,000	1.0	10.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) ユニチカリアルティ株式会社、ユニモア株式会社、除外 2社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	577,523,433 株	28年3月期	577,523,433 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	814,288 株	28年3月期	805,686 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	576,714,949 株	28年3月期3Q	576,724,606 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				12,000.00	12,000.00
B種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				23,740.00	23,740.00
C種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	60,000.00	60,000.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				60,000.00	60,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境に改善の動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では、中国や新興国経済の成長鈍化に改善の兆しがみられず、英国のEU離脱問題や米国新政権の経済政策など世界経済の不確実性も増大しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、平成26年5月からスタートした中期経営計画に掲げる成長戦略の早期実現に向け、高分子事業を中心とする機能素材メーカーとしての基盤強化や収益改善のための各施策の実行に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は92,187百万円（前年同四半期比13.7%減）、営業利益は9,220百万円（同30.8%増）、経常利益は8,387百万円（同63.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,285百万円（同2.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、国内での販売が第3四半期に入っても引き続き好調に推移し、海外でも、インドネシア子会社のP.T. EMBLEM ASIA（エンブレムアジア）の生産能力増強に伴う販売数量増により、売上が増加しました。工業分野は、情報端末機器用途で需要が伸び悩みましたが、耐熱ポリアミドフィルム「ユニアミド」等の高付加価値品の販売は拡大し収益に貢献しました。

樹脂事業では、当社独自処方の高輝度メタリックナノコンジットナイロン樹脂等の高付加価値品が、自動車用途等で採用拡大しています。熱可塑性飽和共重合ポリエステル樹脂「エリーテル」は、海外向け太陽電池用途などで好調に推移し、当社独自のポリアリレート樹脂「Uポリマー」も、海外向け情報端末機器用途で好調でしたが、汎用のエステル樹脂は低調に推移しました。

不織布事業では、ポリエステルспанボンドは、産業資材用途で販売数量を伸ばしましたが、それ以外の用途では低調に推移しました。海外では、タイ子会社のTHAI UNITIKA SPUNBOND CO., LTD.（タスコ）は、産業資材用途での海外展開が堅調に推移しました。コットンспанレースは、スキンケア用品等の生活資材用途で引き続き堅調に推移し、輸出数量も増加しました。

以上の結果、高分子事業の売上高は40,829百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は7,867百万円（同38.0%増）となりました。

【機能材事業】

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、建築用途の販売が堅調に推移しましたが、電子材料分野のICクロスは、情報端末機器用途での需要が回復せず、低調に推移しました。

ガラスビーズ事業では、反射材用途は一部ユーザーで低調に推移しましたが、ロードマーキング用途や工業用途は堅調に推移し、商品構成の改善等も含め、事業全体として収益は増加しました。

活性炭繊維事業では、主力の浄水器用途で需要が回復し、VOC除去用途や工業用フィルター用途等は引き続き堅調に推移しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は8,832百万円（同1.1%減）、営業利益は818百万円（同24.4%減）となりました。

【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は、複合繊維など高付加価値品への商品構成シフトが進み、収益は増加しました。ポリエステル短繊維は、前期までに実施した構造改革による事業縮小に伴い大きく減収となりましたが、高付加価値品の拡販を進め、計画通りの収益を確保しました。

衣料繊維事業では、ユニフォーム分野は、ワーキング用途で需要が回復し、レディス分野は、生地販売や二次製品の拡販により、それぞれ堅調に推移しました。一方で、スポーツや寝装用途での素材販売及びデニム輸出は引き続き低調に推移したため、事業全体の売上は減少しました。

以上の結果、繊維事業の売上高は39,866百万円（同17.0%減）、営業利益は1,005百万円（同26.1%増）となりました。

【その他】

その他の事業につきましては、事業ポートフォリオ改革に伴う子会社の株式譲渡・清算、事業譲渡の影響などにより、その他の売上高は2,659百万円（同66.8%減）、営業損失は483百万円（前年同四半期は555百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ10,374百万円減少し、209,583百万円となりました。これは、主として現金及び預金が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ14,595百万円減少し、167,424百万円となりました。これは、主として長期借入金が減少したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ4,221百万円増加し、42,158百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月9日に公表しました通期の連結業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、ユニチカリアルティ株式会社、ユニモア株式会社の2社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,101	33,048
受取手形及び売掛金	35,811	34,196
たな卸資産	27,566	27,529
その他	4,228	4,350
貸倒引当金	△106	△98
流動資産合計	109,601	99,027
固定資産		
有形固定資産		
土地	66,869	66,814
その他(純額)	37,298	36,917
有形固定資産合計	104,168	103,732
無形固定資産		
その他	1,714	2,066
無形固定資産合計	1,714	2,066
投資その他の資産		
その他	4,505	4,786
貸倒引当金	△32	△29
投資その他の資産合計	4,473	4,757
固定資産合計	110,356	110,555
資産合計	219,957	209,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,322	16,619
短期借入金	1,827	1,731
1年内返済予定の長期借入金	363	308
未払法人税等	215	1,052
賞与引当金	1,256	773
製品改修引当金	2,630	2,000
事業構造改善引当金	989	651
独占禁止法関連損失引当金	—	609
その他	9,298	8,891
流動負債合計	31,904	32,637
固定負債		
長期借入金	124,142	108,956
役員退職慰労引当金	7	4
退職給付に係る負債	11,513	11,633
その他	14,452	14,193
固定負債合計	150,116	134,787
負債合計	182,020	167,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	28,401	28,400
利益剰余金	5,708	10,996
自己株式	△46	△46
株主資本合計	34,164	39,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	433	630
繰延ヘッジ損益	△203	△44
土地再評価差額金	6,474	6,433
為替換算調整勘定	△2,662	△4,185
退職給付に係る調整累計額	△3,608	△3,329
その他の包括利益累計額合計	434	△495
非支配株主持分	3,338	3,202
純資産合計	37,936	42,158
負債純資産合計	219,957	209,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	106,777	92,187
売上原価	84,176	68,523
売上総利益	22,601	23,664
販売費及び一般管理費	15,551	14,443
営業利益	7,049	9,220
営業外収益		
受取利息	41	52
受取配当金	82	74
為替差益	—	369
持分法による投資利益	12	17
その他	603	638
営業外収益合計	739	1,153
営業外費用		
支払利息	1,790	1,501
その他	878	484
営業外費用合計	2,668	1,985
経常利益	5,120	8,387
特別利益		
固定資産売却益	1,206	196
関係会社株式売却益	375	—
その他	43	—
特別利益合計	1,625	196
特別損失		
固定資産処分損	340	432
事業構造改善費用	609	231
独占禁止法関連損失引当金繰入額	—	609
その他	89	20
特別損失合計	1,039	1,293
税金等調整前四半期純利益	5,706	7,291
法人税、住民税及び事業税	120	964
法人税等調整額	△604	△38
法人税等合計	△483	926
四半期純利益	6,190	6,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,161	6,285

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	6,190	6,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145	197
繰延ヘッジ損益	53	160
土地再評価差額金	△66	△41
為替換算調整勘定	△483	△1,741
退職給付に係る調整額	254	279
その他の包括利益合計	△97	△1,145
四半期包括利益	6,092	5,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,078	5,355
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	41,808	8,927	48,038	98,773	8,003	106,777	—	106,777
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8,107	877	623	9,608	885	10,493	△10,493	—
計	49,915	9,804	48,661	108,381	8,889	117,271	△10,493	106,777
セグメント利益又は損失 (△)	5,702	1,082	797	7,582	△555	7,026	22	7,049

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	40,829	8,832	39,866	89,527	2,659	92,187	—	92,187
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,579	682	708	7,970	860	8,830	△8,830	—
計	47,408	9,515	40,574	97,497	3,520	101,018	△8,830	92,187
セグメント利益又は損失 (△)	7,867	818	1,005	9,691	△483	9,207	13	9,220

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種プラントの設計施工及び整備保全等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。